

2012 まごのてくらぶ活動 1

4月1日(日) 国見コミュニティ広場ゲートボール場グラウンド整備

国見地区内でのゲートボール大会が開催されるにあたっての事前準備。国見 5 丁目町内会の方々により国見コミュニティ広場ゲートボール場のグラウンド整備が実施されました。しかし、整備用のローラーが予想以上に重い(学生 2 名でやっと動かせるくらい)ということもあり、学生の持つ「若い力」を活かし整備活動を行うといったことから、当くらぶ部員が国見地区 5 丁目町内会の方々と共にグラウンド整備活動を実施しました。

場所: 国見コミュニティ広場ゲートボール場 参加者: 8 名



2012 まごのてくらぶ活動 2

4月16日(月) 引越し支援

依頼者は高齢者の一人暮らしの女性ということもあり、近日、今お住まいの一軒家から、ケアハウスへの入所が決まっていた。そこで、依頼者と身内の方々が引越しを行うということであったものの、人手不足といったことから当くらぶより 2 名の部員が引越しのお手伝いに加わり活動を実施しました。

場所: 国見 3 丁目(高齢者個人宅) 参加者: 2 名



5月20日(日) 鈴虫荘公園清掃・花壇づくり

「鈴虫荘公園清掃・花壇づくり」は、まごのてくらぶ発足当時の一番最初の活動として、その頃から継続的に実施されており今回で3回目となります。こうした大学周辺地域での公園等の清掃活動や花壇づくりは、当くらぶの理念において最もふさわしい活動であり、地域の方々の日常的な顔と顔が見えるお付き合いの中での活動なので、当くらぶはこうした足元からの取り組みがいかに大切かといったことも踏まえて、毎回の活動に従事しています。

場所: 鈴虫荘公園 参加者: 21名



6月2日(土)・3日(日) NHK ECO パーク 2012

平成 24 年度における NHK 環境キャンペーンの一貫として、6 月の環境月間に合わせ「ECO パーク 2012」が 6 月 2 日・3 日に開催され、NHK からの依頼の下、出演することとなりました。ECO パーク 2012 では、東日本大震災以降、市民生活のあり方が見直されている現状をふまえ、環境問題に取り組む大学生・NPO 団体等が、節電やリサイクル、エネルギーシフトなど、生活に密着した視点で地球に優しい暮らし方のヒントやアイデアを来場された方々と共に考えるといった趣旨の下開催されました。

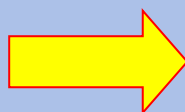
場所：NHK 放送センター 参加者：2 名



6月23日(土) 庭木の枝落とし支援

国見1丁目町内会個人宅の庭木の枝落とし。春から夏にかけて伸びた庭木の枝が3メートル近くあり、依頼者一人ではとても無理だった為、当くらの学生3人・引率の教職員2名が「まごのて」となって庭木の剪定を行いました。学生は慣れない手つきで作業を行っていたが、教職員の助けやアドバイスもあり無事枝落としを行うことができました。

場所：国見1丁目(高齢者個人宅) 参加者：3名



「Before」

「After」

6月28日(木)～継続中 フルタフ回収

週に1度、国見5丁目町内会長宅に、町内で回収された空き缶の中から、フルタフを頂きに行くといった作業です。単純な作業であると同時に、かなりのフルタフの量を必要とするが、回収されたフルタフを各県で定められた協会に送ると、発展途上国へワクチンを送ることができます。時間はかかるかもしれないが、こうした学生自身が自主的な日々の活動の積み重ねを行うと共に地域との関係性を構築できればよい一層良い活動であると考えこの活動に取り組んでいます。

場所: 国見5丁目(高齢者個人宅) 参加者: 毎回2～3名が交代で実施



6月30日(土) 国見地区連合町内会・まごのてくらぶ合同災害支援

私たちがまごのてくらぶは、2回目となる国見地区合同ボランティア活動を女川町復興ふれあい農園(被災地)で実施しました。今回は、国見地区の方々とふれあい農園の拡張のため、草むしり、瓦礫の撤去作業を行いました。参加者全員で協力し、一日だけで約80~90坪も拡張することができました。

本活動において、また少し国見地区の方々との関わりが深くなれたと同時に、この活動が女川町の復興支援の一助になれたのではないかと感じています。

場所:女川町清水・新田地区 参加者:16名



8月3日(金)～6日(月) 第20回くにみ夏まつり

今年は20回を記念し、恒例のブースではない、昔遊びをテーマに子どもたちと竹馬遊び、射的、割り箸鉄砲作りなどをしました。また、出店の販売支援として、わたあめ販売・ポップコーン販売も行いました。準備から片付けまで、学生と国見連合町内会の方々が協力し合い、20回記念にふさわしくくにみ夏祭りを実施することができました。

場所：国見小学校 参加者：40名



8月3日(金)準備



8月4日(土)本番



8月5日(日)本番



8月6日(月)片付け

9月17日(月) 2012 宮城県大舞踏会 in グランティ 21

宮城県レクリエーション協会より、「2012 年宮城県大舞踏会 in グランティ 21」におけるボランティアスタッフの支援依頼を受けました。当くらぶには、同協会主催のインストラクター講習会に参加している学生も多く、今回こうしたレクリエーション事業の一環としての目的といった意味も踏まえ参加することとなりました。

活動内容としては、「2012 年宮城県大舞踏会 in グランティ 21」という社交ダンスパーティーにおける会場設営や参加者への飲み物提供、イベント終了後の資材撤去等の支援活動を実施しました。

場所: グランティ 21 参加者: 4 名



9月26日(水) 家財運搬

国見地区連合町内会会長宅より依頼を受け、自宅改築工事にともなう家財運搬作業やゴミ類の撤去作業等の支援依頼を受けました。作業内容や現場状況からわかる通り、一人では運びきれない物も沢山あるため、この度、当くらぶ学生が労力支援活動を行うこととなりました。活動は、家具等の運搬作業といった重労働を男性(4名)が行い、ゴミや不要物の処理活動を女性(2名)が行いました。

場所:子平町(個人宅) 参加者: 6名



9月30日(日) 第36回国見学区民大運動会

当くらぶにとって今年で3回目となる国見学区民大運動会の支援。国見地区連合町内会では、くにみ夏まつりと並ぶ大きな行事として力を入れています。国見地区連合町内会の方々の運動会に向けての取り組みや、運動会中の様子、また次の年に向けてより良いものを築きあげていこうという姿勢が間近で見られる機会でもあります。

また、普段顔の合わせることの少ない世代の方々とも触れ合えることができ、同じ時間を共有することによって、また新たな絆が生まれます。子どもから大人まで地域全体で作上げる運動会の支援は、当くらぶの理念である「地域共創」に根差している活動であり、私たちも是非協力したいという思いから活動実施に至りました。

主な支援内容としては、運動会を開催するにあたってのテント設営・備品整理・備品分配、各競技のスターター・競技参加者を集め、誘導・着順付け、そして片づけといった運動会の準備から片付けまでの全てを行いました。

場所：国見小学校 参加者：28名

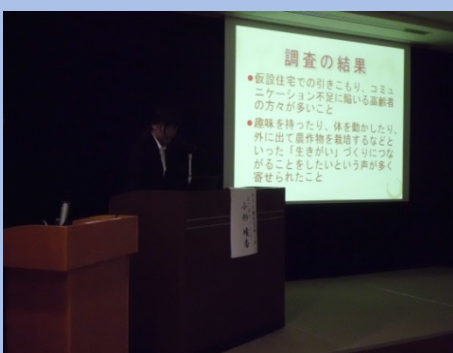


10月7日(日) 第4回くにみ街道まつり

大学と地域の絆をより強固なものとし、共に発展していくことを目的に、今年もくにみ街道まつりが開催されました。まごのてくらぶの学生の数も昨年の倍になり、より充実した企画を来場者に提供すること、そして我々の日頃の活動や、被災地での復興支援活動をより多くの人に知ってもらおうと同時に、社会に目を向け、身近で発生した3.11の記憶を風化させないことを目的に実施致しました。

主な内容としては、被災地(女川町)物産市場、サンマ販売、玉コン販売、キュウリの一本漬け販売、ビンゴ大会、活動報告会、孫の手製作ブース、屋台の手伝い、宮城県レクリエーション協会スタッフ補助等です。また、祭り全体の事前準備(会場準備、物品搬入・搬出、玉コン・キュウリ仕込み等)から後片付けまでを行いました。

場所:本学ステーションキャンパス 参加者:41名



10月24日(水)～10月26日(金) 南吉成中学校職場体験学習サポートスタッフ

権現森にて行われた「南吉成中学校職場体験学習」のスタッフとして、主に中学生のサポート(危機管理体制)として活動を行いました。実際に森林伐採や看板製作・看板取り付け・坐禅体験等、中学生と同じ体験をしながらサポートに入りました。

場所: 権現森 参加者: 6名



10月28日(日) オレンジリボン運動

この活動は、毎年11月が児童虐待防止推進月間になっているということから、厚生労働省の依頼を受け当くらぶがオレンジリボン運動(児童虐待防止運動)を行いました。児童虐待防止のシンボルマークでもある「オレンジリボン」。そして、児童虐待に関する資料を一般の方・高校生・本学の学生に配布することとなりました。

また、東北福祉大前駅を利用する方々にも駅前にブースを設置し、同様にオレンジリボン及び関係資料を配布しました。資料を受け取って下さった方々の中には、「もともと知っていた」という方もいたが、「ほとんど知らない」といった回答が多く、今回の活動によって児童虐待防止運動における広報活動ができたのではないかと強く感じています。

場所: 本学国見キャンパス・本学ステーションキャンパス 参加者: 4名



11月4日(日) 国見東部ブロック防災訓練ボランティア

本活動は、国見東部ブロック防災訓練における会場設営や参加された一般の方々の誘導・引率等、主に運営側の支援活動を目的とし実施しました。昨年の震災の影響から参加者も285名と大変多く、部員も参加者をサポートしつつ、今後起こりうる災害時の為にも、自身の勉強のつもりで参加するといった意識のもと依頼を受け支援実施に至りました。

活動内容としては、主に会場設営・参加者の誘導・会場片付けとそこまで大掛かりな内容ではありませんでしたが、防災訓練ということもあり、参加者同様、支援はしつつも、後の災害時に備えた活動として、部員にとっても大変勉強になる活動内容であったと感じています。

場所：三条中学校 参加者：7名



11月7日(水) 国見コミセン器材運搬

この度、国見コミュニティセンターにおいて、お祭が催され、片付けの際に大きな器材の運搬作業が必要となり、町内会だけでは人手が足りず、学生の力を貸して欲しいとの依頼を受け「辛いところに手が届く」という理念に基づいた活動であることから支援実施に至りました。

活動内容としては、椅子の運搬やホワイトボードを国見コミュニティセンターから貝ヶ森市民センターへ運搬・清掃・片付けといった主に労力支援を実施しました。

場所：国見コミュニティセンター・貝ヶ森市民センター 参加者：6名



11月10日(土) 国見台病院裏道路・国見コミュニティセンター敷地内清掃活動

この活動は、国見コミュニティセンター敷地内の落ち葉拾い・草取り、国見台病院裏道路の落ち葉拾いを実施しました。季節的なもので、道には多くの落ち葉が散布していたものの、地域の方々と会話を交わし楽しみながら活動を実施することができました。

場所: 国見コミュニティセンター 参加者: 6名



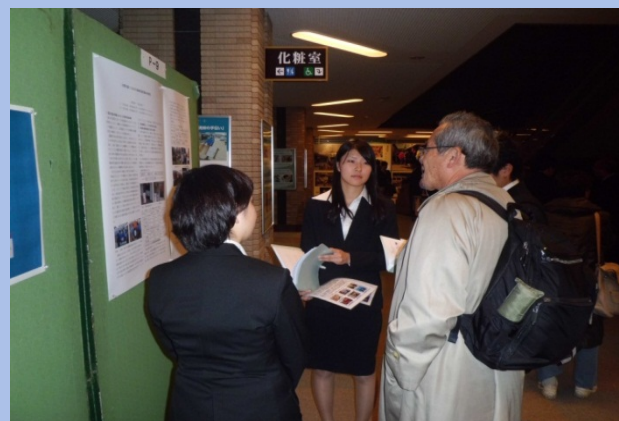
11月16日(金) 社会貢献学会

本学会は、『社会貢献学会』における「防災・減災・環境・社会貢献・ボランティア」に関わる研究成果報告会として催されたと同時に、その研究成果を社会へ広く還元することを最大の目的としています。

「社会貢献学会」は、本学学長補佐の渡辺信英先生が会長を務めており、今回で第3回目となります。そこで本学会において、今回まごのてくらぶより、3名の学生が出演できることとなりました。

本学会における主な活動内容としては、パワーポイントによる口頭発表(1名)及び、ポスターを掲示し、来場者からの質疑・応答を行うポスターセッション(2名)によって行われました。口頭発表においては、平成24年の2月より取り組んでいる「女川町復興ふれあい農園」における活動報告を行い、ポスターセッションにおいては、平時における地域での取り組みについてのポスター掲示を行いました。

場所: 国見キャンパス 参加者: 3名



11月17日(土) 国見コミュニティ広場清掃

国見コミュニティ広場での活動は、今年度4月に実施していたこともあり、今後の継続的な支援を視野に入れると同時に、この活動によって更なる地域間交流を深められればという目的のもと支援実施に至りました。

活動内容としては、国見コミュニティ広場のフェンスから敷地外へと飛び出た木の枝落とし、枯葉やゴミ等の掃除を行いました。時期的なもので、枯葉や枝の回収には時間を要しましたが、学生と地域の方々との息の合った活動により、作業が円滑に進んだため、予定時間よりも早く活動を終えることができました。

場所：国見コミュニティ広場 参加者：5名



11月17日(土)・18日(日) しめ縄作り

この度、羽黒神社において、日本の伝統文化である「しめ縄作り」を高齢者から若者へ伝承したいという目的により地域住民より依頼を受けました。高齢化が問題とされている世の中で、こうした伝統文化や行事などを受け継ぐ若者が減少傾向にあると言われています。羽黒神社周辺(北山2丁目)においてもまた、高齢者の方が多く、ぜひとも学生の力を貸して欲しいという依頼を受けたことから今回の活動実施に至りました。

活動内容としては、「藁打ち」と「縄を編む」作業の2つの工程がありました。伐採したままの藁では、芯があり固いため最初に藁を木槌で叩く作業を行いました。実際に藁打ちを行ってみると、木槌も重く、かなりの重労働を要する作業であり、この作業においては、学生が中心となって取り組みました。そして、藁打ちを終え、縄を編む作業に入りましたが、意外と難しく、しめ縄作りが初めての学生は、指導者の方からアドバイスを頂き、不器用ながらも最終的に「しめ縄」と呼べるものを完成することができました。

場所:羽黒神社 参加者:17日 6名 18日 4名



11月18日(日) 鈴虫荘公園清掃・花壇づくり

この「鈴虫荘公園清掃・花壇づくり活動」は、まごのてくらぶ発足当時の一番最初の活動として、その頃から継続的に実施されており、本年度も同様、当くらぶの支援委員長でもある吉澤様からの依頼の下、活動を実施しています。

また、こうした大学周辺地域での公園等の清掃活動や花壇づくりは、当くらぶの理念において本当にふさわしい活動であり、地域の方々との日常的な顔と顔が見えるお付き合いの中での活動なので、当くらぶとしては実施すべき本来の姿とし、毎回の活動を実施することを目的としています。

今回で4回目となる「鈴虫荘公園清掃・花壇作り活動」は、毎年時期になると定期的の実施され、鈴虫荘公園周辺地域で生活されている方々とまごのてくらぶの学生が協力し、1つの活動を共に実施するといったまごのてくらぶ本来の地域に根差した活動となっています。

場所：鈴虫荘公園 参加者：11名 町内会 15名



1月14日(月) 松焚祭(どんと祭)参拝者誘導

宮城県を代表する祭り、松焚祭(どんと祭)が大崎八幡宮で行われました。この行事は300年の歴史があるとされ、2005年に仙台市の無形民俗文化に指定されているお祭りであり神社の境内などで正月飾りを焼き、御神火にあたることで一年の無病息災・家内安全を祈願する祭で、参拝者が裸参りをするということでも有名である。

そこで、多くの参拝者に対応するためのスタッフが、町内会だけでは足りないということから、今回初めて、当くらぶは町内会より依頼を受け活動を実施することとなりました。

場所：大崎八幡宮 参加者：16名 参拝者：延べ4万人



2月24日(日) 半子町子ども会歓送迎会(レクリエーション支援)

今年で3回目を迎えた「半子町子ども会歓送迎会」のレクリエーション支援。この支援は、当くらぶ発足当初から継続して実施している活動でもある。今年度は、レクリエーション・インストラクターの資格を取得した学生が多く、その学生が中心となり本活動の内容を構成し資格を生かした実践の場としても良い機会でした。

また、この支援を通して多くの学生及び子どもたちに、レクリエーションに興味を持ってもらえる良い機会であるという意味も込め実施に至った。そして何より、最大の目的は、この春小学校へ入学する新入生と卒業生を中心とした子どもたちに「最高の笑顔」で本レクリエーション支援を楽しんでもらうことを目的としています。

場所：貝ヶ森市民センター 参加者：21名 小学生59名



3月23日(土) 国見コミュニティゲートボール場ローラー掛け

今回の国見コミュニティ広場のゲートボールコートローラー掛けは昨年同様4つのゲートボールコートローラー掛けする内容でした。コートのローラー掛けは、コートの縦・横1回ずつ行いました。当くらぶは今回で2回目となる支援なので、苦戦することなく円滑にローラー掛けを行うことができました。

また、ローラー掛け以外の部員は、コート脇のフェンス(高さ約3m)に絡まった蔓等の除草作業を町内会の方々と共に行いました。四方八方に伸びたつるはフェンスの上まで伸びており、はしごを使って蔓を切る大変な作業でしたが、皆で協力しながら取り掛かった為、予定よりも早く支援を終えることが出来ました。

場所：国見コミュニティ広場 参加者：10名 町内会：10名



3月25日(月) 藤棚設置並びに藤木植樹作業

今回は宮城県北、大崎市田尻の沼部地区という遠方での支援活動でした。
 主な活動内容としては、田尻切伏沼公園内に藤の木を植樹するための作業や、藤の木を支えるための支柱の設置を行いました。専門的な技術を要する作業が多く、学生は現地の方々の行う作業のサポート等、出来る範囲での支援をさせて頂きました。

場所：田尻切伏沼公園 参加者：4名 一般22名



2013 年版 まごのてくらぶ震災復興カレンダー製作

新しい試みとしてカレンダー製作に取り組みました。「東日本大震災を忘れないために」という思いから、「震災復興カレンダー」と名づけ、復興支援に取り組んでいる様子と学生や関係者からのコメントを添えた手作りカレンダーです。大学のHPをはじめ新聞の記事としても掲載されたことから、多くの方からは是非いただきたいという要望もありました。カレンダーは関係各所、支援先などにお配りしました。



「地域を知ろう」

第1回 7月19日(木)～20日(金) 第2回 10月17日(水)～18日(木)
第3回 11月29日(木) 第4回 1月10日(木)～11日(金)

この活動は「まごのてくらぶ」の活動エリアとなっている国見地区連合町内会について、自分たちが活動している地域のことについてより理解を深めるため計4回にわたって実施されました。

具体的には、各グループでいくつかの担当地域を決め、その地域の特色や歴史についての調査をおこない、学生間でグループごとに発表し、理解を深める合う活動を行いました。

場所：本学ステーションキャンパス 参加者：63名

